

見えるのは、映画ではなく夢です。

見る人を、しあわせに、します。



Best Foreign Film
DAVID DI DONATELLO
AWARD
ITALY 1991

ACADEMY AWARD WINNER
Best Foreign Language Film
1992

Best Foreign Film
PALM SPRINGS FILM
FESTIVAL 1992

1992年アカデミー賞外国語映画賞受賞

1991年ダヴィッド・ディ・ドナテッロ賞作品賞/編集賞受賞
1992年パームスプリング映画祭最優秀外国語映画賞受賞

エーゲ海の天使

MEDITERRANEO

Mario & Vittorio Cecchi Gori MARIO & VITTORIO CECCHI GORI

シルヴィオ・ベルルスコーニ・コミュニケーションズ SILVIO BERLUSCONI COMMUNICATIONS / ジャンニ・ミネルヴィーニ GIANNI MINERVINI

「エーゲ海の天使 MEDITERRANEO」

ディエゴ・アバタントゥオーノ DIEGO ABATANTUONO / クラウディオ・ビガッリ CLAUDIO BIGAGLI / ジョゼッペ・チェデルナ GIUSEPPE CEDERNA / クラウディオ・ビシオ CLAUDIO BISIO

ルイジ・アルベルティ LUIGI ALBERTI / ウーゴ・コンティ UGO CONTI / メモ・ディニ MEMO DINI / ヴァスコ・ミランダ VASCO MIRANDOLA

ルイジ・モンターニ LUIGI MONTINI / イレーネ・グラツィオリ IRENE GRAZIORI / アンTONIO・カタニア ANTONIO CATANIA / ヴァンナ・バルバ VANNA BARBA

監督: ガブリエレ・サルヴァトーレス GABRIELE SALVATORES

製作: ジャンニ・ミネルヴィーニ GIANNI MINERVINI / マリオ & ヴィットリオ・チェッキ・ゴリー MARIO & VITTORIO CECCHI GORI

ペンタフィルム PENTA FILM S.p.A. A.M.A. フィルム A.M.A. FILM S.r.l.

©1992 Penta International. All Rights Reserved.

配給 KUZUI エンタープライズ



解説

●アメリカとイタリアのアカデミー

賞を削じて大ヒット! 紺碧のエーゲ海に浮かぶのどかな小さな島で、夢のように暮らし、童心を取り戻していく男たち。

温かくユーモラスなこの映画は、見る者をちょっぴり元気に、しあわせな気分してくれる。そのチャーミングでハートフルな魅力は、観客と批評家をともにノックアウト。イタリアのアカデミー賞ともいえるドナテッロ賞作品賞/編集賞に続き、本家アメリカの92年アカデミー外国語映画賞を受賞。本国イタリアでの大ヒットはもちろんのこと、92年のアメリカで外国映画としては最高の興収を記録した。監督のガブリエレ・サルヴァトレスは名実共に「ニュー・シネマ・パラダイス」のジュゼッペ・トルナトーレと並ぶイタリアン・ニュー・シネマの旗手となったのである。●「夢」を描いて、しあわせな気分にしてくれる「夢について描きたかったんだ。私たちの世代の夢をね……。監督は自作のテーマについてこう語る。男たちが戦争にとられたギリシャ領の小島で、牧歌的に人間らしい生活を送っている女や老人、子供たち。ある時、この島にイタリア人兵士8人が派遣されてきた。それまでの日常から解放された、島のゆったりとしたリズムの中で暮らすうち、彼らは自分の人生や夢を見つめ直していく。とりわけ、美しい娼婦ヴァシリサとの交流は、彼らを一人の「人間」へと帰し、新しい人生への扉を開くことになる。エーゲ海の美しい風景。たうたうように流れる時間。無垢な島の人々……。監督が意図した「夢」の世界は、全編に抒情をたたえながら、見る者をしあわせな気分にして誘いこんでいく。ヴァシリサ、美しい羊飼いの娘、そして彼女たちを取り巻く男たちの内にある清らかな人間性もまた「天使」であるように思えてくる。●ウィットに富んだユーモアと風刺の、イタリアン・ニュー・シネマ映画の導入部分にこう書かれている。「このような時代には、脱出することだけが、生き続け、夢を見続ける唯一の道だったのです。そして映画は、このエッセンスをビター・スウィートな味わいに風刺のスパイスをきかせて押し進めていく。居もしない敵に怯えて、ニワトリ相手に銃をブツばなす男。順番に、公平に愛を分け与える娼婦。彼女と寝ないことで愛を通し、結婚を決意する男。司祭にたのまれた教会のプレスコ画の制作に夢中になる隊長……。社会の矛盾や運命の皮肉というイタリア映画の伝統を引き継ぎながらも、その中で「夢」を持ち続ける男たちの描写は、リアリティよりもファンタジーを感じさせる。彼らはイタリア男の陽気さといーじーさを持ちながらも、時に繊細で、子供のように無邪気て可愛い。ユーモアもかつてのイタリア映画のおしつけがましきはなく、ウィットに富んでソフィスティケートされた心地よい笑いを誘う。これがイタリアン・ニュー・シネマのコメディの味といえよう。アカデミー賞受賞でその手腕を改めて示したサルヴァトレスは52年生れ。法律を学ぶためにミラノ大学へ進んだが、自分も国政に参加しなければ、という決意のもとに中退した。60年代に多感な青春時代を過ごし、「世界を変えていくことがどれほど困難かを知った」監督にとって、この映画は88年の『マラケシュ・エクスプレス』、89年の『トルネ』とともに、同世代の人間に訴えた「3部作」を成している。サルヴァトレス映画を支えているのは、お抱えの俳優チームによるアンサンブルの妙。俳優への絶大な信頼感が、伸び伸びとした演技を引き出している。前2作に次いで3回目のコンビとなるロルツ軍曹役のディエゴ・アバタントゥオーノ以下、他のキャストもこれまで監督と映画、舞台上で仕事をした人ばかりで、そのファミリー感覚が映画により温かな雰囲気をもたらしたのかもしれない。製作は、前2作に続いて担当するジャンニ・ミネルヴィーニと、フェリーニの『ボイス・オブ・ムーン』などを手がけたマリオ&ヴィットリオ・チェッキ・ゴリー。イタロ・ベトリッチョーネの撮影が、陽光さんと降り注ぐ島を魅惑的にカメラに取る、ジャンカルロ・ピガッツィによる民族音楽を取り入れた軽快なスコアが、爽やかに映像を彩っている。また、編集のニーノ・バララーリはこの作品でドナテッロ賞を受賞している。(●チャーミングなおとぎ話の傑作だ!! (ニューヨーク・タイムズ))

●温かくユーモラスな映画で、見た人は満足し、元気が出るだろう。(ロサン

ゼルス・タイムズ) ●スタッフ・キャストのアンサンブルが

見事に結実したイタリアン・ニュー・シネマ

の夢物語。(バラエティ))

ガブリエレ・サルヴァトレス監督作品

エーゲ海の天使

MEDITERRANEO

(スタッフ)

監督:ガブリエレ・サルヴァトレス/製作:ジャンニ・ミネルヴィーニ、マリオ&ヴィットリオ・チェッキ・ゴリー

脚本:ヴィンチェンツォ・モンテレーネ/撮影:イタロ・ベトリッチョーネ

編集:ニーノ・バララーリ/美術:タリア・イスティコプロス/音楽:ジャンカルロ・ピガッツィ

(キャスト)

ヴァンナ・バルバ/ティエゴ・アバタントゥオーノ/クラウディオ・ピガッツィ/ジュゼッペ・チェテルナ/クラウディオ・ピジオ/ジージョ・アルベルティ

ウーゴ・コンティ/メーモ・ディーニ/ヴァスコ・ミランドラ/ルイジ・モンティニ

イレネ・グラツィオーリ/アントニオ・カターニア

1991年度作品 イタリア映画/ビスタビジョン・カラー・モノラル作品

上映時間:1時間30分/字幕スーパー 翻訳:吉岡芳子

配給:KUZUIエンタープライズ

■シネマの街《渋谷》に新ロードショー・シアター・オープン!

5月1日〈独占〉ロードショー!

前売鑑賞券好評発売中!(一般・1400円/学生・1200円)

渋谷東急3
東急文化会館B1 03-3407-7019